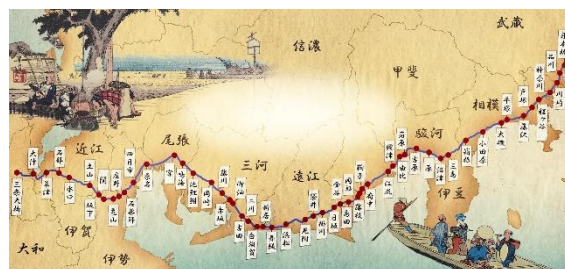


寅さん歩 その19

バーチャルウォークで 東海道を歩くー1



平野 武宏

「バーチャルウォークで東海道を歩く」は毎日の散歩などで歩いた距離を累計してFWAのHP「YR・四季の道」に掲載の東海道五十三次のコースシートの1マス2kmを塗りつぶして進みます。これまでは「東京の主要道路起点〜終点を歩く」のサブテーマとして進捗状況報告を行い、江戸より35番目の宿御油（ごゆ）宿まで到着しました。今回からは「バーチャルウォークで東海道を歩く」で残りの赤坂宿からゴールの京都・三条大橋までを歩きます。

各宿場は歌川広重の浮世絵や写真（いずれも無料画像）で紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。

では江戸・日本橋より36番目の赤坂宿からスタートです。

[赤坂宿]

2023年11月27日赤坂宿（愛知県豊川市）（江戸・日本橋から300km）に到着です。写真下の浮世絵は「赤坂旅舎招婦ノ図」です。中央の蘇鉄を境に右と左で宿屋の夕食時の表と裏を描き分けています。右側は布団部屋で化粧する女たち、左側は風呂上がりの客、くつろぐ客、膳を運ぶ女中が描かれています。



赤坂宿は飯盛女を多く抱える活気ある宿場町でしたが、鉄道（現在の東海道本線）の開設経路から外れたため、繁栄を鉄道通過駅に奪われてしまいました。

その後、私鉄（現在の名鉄）の駅が設置されましたが、繁栄は取り戻せませんでした。

写真上右は浮世絵に描かれた旅籠大橋屋です。2015年（平成27年）まで営業をしていたようで、江戸時代の建物が保存されています。中庭の蘇鉄は近くの寺院に移植されました。

[藤川宿]

2023年11月29日藤川宿（愛知県岡崎市）（江戸・日本橋から308km）に到着です。



写真左は「藤川 棒鼻ノ図」です。棒鼻とは宿場の境界を示す立て札です。公式な行列を出迎える様子が描かれています。馬の上に立てられた御幣から、幕府から朝廷に馬を献上する行列を描いたのだと推定されます。

藤川宿の土産物には、かつて「からむし細工」と呼ばれるものがありました。

「からむし」とは桑によく似た野生植物で、その繊維をつむいで袋や縄、かんざしなどを作りました。現在、この地ではその生産は行われていません。今では福島県昭和村が日本唯一の生産地だそうです。



写真上左は藤川宿脇本陣、写真上右は東海道の杉並木です。

[岡崎宿]

2023年11月30日岡崎宿（愛知県岡崎市）（江戸・日本橋から314km）に到着です。岡崎は家康が浜松城に移るまで本拠にした岡崎城の城下町です。



写真左は「岡崎矢矧之橋」です。家康ゆかりの地である岡崎の町を矢矧（やはぎ）川西側から遠望した図です。矢矧之橋は全長370mで街道一の長さでした。橋の上を大名行列が進み、その先に岡崎城が見えます。

岡崎宿のはずれにあたる八帖町界隈は、八丁味噌（写真下左）の生産地です。八丁味噌は良質の大豆と矢矧川（矢作川）の伏流水で作られる名産品です。その歴史は古く、戦国時代には武士の糧食としても珍重されました。



写真上右は八丁味噌田楽です。香ばしく焼いた豆腐に八丁味噌ベースのたれをぬっています。素朴な菜めしとの組み合わせはお勧めです。

かつての岡崎宿には淡雪豆腐を名物とする茶屋が並んでいました。淡雪に見立てたあんかけ豆腐は旅人に親しまれました。

その名物を模した和菓子 あわ雪（写真下）は、岡崎の郷土銘菓です。卵白、寒天、砂糖を泡立てたもので、冷やして食べると美味です。



[知立宿]

2023年12月3日知立（ちりゅう）宿（愛知県知立市）（江戸・日本橋から330km）に到着です。



写真左は「池鯉鮒 首夏馬市」です。池鯉鮒は現在、知立と表記されている宿場で首夏（4～5月）に催される馬市を描きました。人々が「談合松」の元に集まっています。爽やかな風に吹かれる初夏の季節感が伝わります・

東海道の東下りで京都・三条大橋を出発したFWAの八柳修之さん（このバーチャルウォークの提唱者）と途中で連絡を取り合い、知立宿で会うことにしました。バーチャルウォーク東海道五十三次に挑戦しているお互いの健闘をたたえ合うバーチャル宴会です。八柳さんは寅次郎と同じ頃にFWA前身の藤沢市歩け歩け協会に入会、会員制のFWA創設に取り組んだ仲間寅次郎の4歳年上です。八柳さんは広報活動を担当し、HPの立ち上げ・会報の充実に尽力されました。寅次郎は会員増や事業拡大を担当しました。また八柳さんは早くから団体歩行の例会の在り方に警鐘を鳴らしていました。その危惧はコロナの蔓延で現実化しました。FWA財政改善対策としてYRを盛り上げる次々の提案をしています。バーチャル宴会でもFWA愛溢れる発言に敬服した寅次郎でした。

バーチャル宴会のご馳走は知立名物の「うなぎ」(写真下左)と「大まんまき」(写真下右)です。知立宿ではうなぎ屋が多く、縁日にはかば焼きの露店が多数出店しています。ここでは新鮮なうなぎが安価で楽しめます。大あんまきは黒餡、白餡をたっぷりとはさんで焼いた和菓子で、明治20年代から親しまれている知立の名物です。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝